

文化初級日本語

北京語言學院出版社

文化初级日本语

原著：（日本）文化外国语专门学校

编译：邱鸿康 陈国梁 树成林

北京语言学院出版社

(京) 新登字 157 号

文化初级日本语

原著 [日]文化外国语专门学校
编译 邱鸿康 陈国梁 树成林

*

北京语言学院出版社 出版发行

(北京海淀区学院路 15 号 邮政编码 100083)

新华书店 北京发行所 经销
北京外文印刷厂 印刷

开本 787×1092 毫米 1/16 27 印张 300 千字
1992 年 2 月第 1 版 1992 年 2 月第 1 次印刷

印数 0001 — 6,000 册

ISBN 7-5619-0145-3/H · 102 定价：11.50 元

前　言

笔者经常听到有些从日本回来的朋友抱怨，说在国内学了一两年日语，去日本后仍经常闹笑话。我们想这除了语言障碍之外，还有一个重要的原因就是不了解日本的文化特点。任何社会现象，追本溯源，无不与该国的文化有关，语言也不例外。要精通一门外语，学习其单词、语法等等是十分必要的，但同时还必须了解该国文化特点，也就是了解其风土人情、民族特点，社会生活习惯等。

日本文化外国语专门学校编写的《文化初级日本语》不失为一本难得的好教材。该教材是为准备进入日本大学或专科学校的外国留学生编写的。教材把语言学习同日本文化巧妙地结合在一起，课文设计的各种各样的情景，都是留学生在日本会遇到的或者感兴趣的问题。学习者学习语言的同时就恍若到了日本，了解社会，懂得了各种各样的风土人情。该书选材多样，语言生动、活泼，实用性强，并附有大量插图，可谓一本图文并茂，利于形象、直观教学的教材。

本教材征得日本“文化外国语专门学校”副校长保崎優先生的同意，由北京语言学院出版社出版。在此我们向保崎優先生及日本文化外国语专门学校其他有关的女士、先生们表示诚挚的谢意。

单词、课文翻译由陈国梁负责；语法注释由邱鸿康、树成林负责；全书由邱鸿康统校。错误及不当之处，恳请大家批评指正。

编译者

1990年4月

使 用 说 明

一 本教材的特点

本教材是为初学日语的外国留学生,进入日本大学或专科学校学习而编写的。使用本教材讲课时,以不使用媒介语为前提。

志愿接受日本高等教育的留学生,学习初级日语要解决以下两个问题:第一,系统地学习语法,为将来接受高等教育所需的高水平的应用能力逐步打下基础;第二,能够应付在日本的日常生活中所遇到的交际活动。本教材就是本着这两个方面,相辅相成地提高学生语言能力而编写的。具体安排如下:句型部分是根据语言环境应用的实际需要,由浅入深地进行选择和编排的。在不使用媒介语引入新句型时,最重要的是对使用句型的场面和情况,即什么人,在什么场所,为什么目的而使用,提供具体线索。在编写本教材时,我们对这些句型在现实生活中的使用情况,重新逐个地进行了分析。从想象得到的日常生活场面出发,选出与学生生活联系较深的句型,通俗易懂地编成课文的故事内容。另外,我们还使用很多插图,形成生动的场面印象,以加深学生的形象理解。

对学生来说,学习句型只靠抽象理解和机械练习是不够的。现已公认必须按其实际应用情况,正确地使用,才能习得。本教材的课文部分充分考虑到这一点,能够使学生在遇到相应的场合时,通过替换词语,表达自己的意思。

二 整体结构

本教材除“生活会话”外,共有 37 课。“生活会话”包括问候和购买最基本生活必需品的言语。一至三十六课是用主要句型,以其使用的自然场面为背景编成的故事。每课约有三至十个学习项目。第三十七课是以大学入学考试的小论文和面试为内容的。项目出现的顺序是按从易到难的原则,考虑到自然场面,在已知的基础上,逐步提出新知识。

学习时间,包括平假名和片假名,阅读理解、听力理解、作文和会话指导,大体需

要 300—350 学时。总词汇量为 1800，但不需要全部掌握，教师可结合学生情况，分成理解词汇和使用词汇两部分，去指导学生学习。

三 每课的结构和教法

每课都由“课文”、“例文·说明”、“练习”、“扩展”等部分组成。授课的进程和方法大体可设想为，①首先可根据课文内容，使学生对语言环境有个印象，②通过“例文·说明”部分，学习句型，③进行按实际谈话场面设计的“练习”，④再回到“课文”，理解其内容，根据每个学生不同的经验，进行替换练习（按不同的课，有“扩展”提示）。

（一）课文

课文是根据外国留学生来日本可能遇到的和感兴趣的场面提出的句型。课文除会话体外，还有书信和日记体。不同的课文要采取不同的方法处理。即有以理解为主的课文，又有会话范例和作文范例。

（二）例文·说明

用该课应学的新句型，提出一些结合实际谈话的例文。出现新的活用情况时，附有活用表。

（三）练习

练习是指新提出的项目跟谈话相结合的简短的替换练习。学生已充分理解意思，但还需要反复练习，直到自己能独立表达。

（四）扩展

如前所述，本教材是用于学生表达学习内容的手段，目的是为了使学生能够表达实际生活内容和经验。因此，每学完一课时，希望教师准备一些适合学生生活和兴趣的应用练习。这里的“扩展”带有更大的普遍性。

四 书写

假名一律按新假名用法书写。汉字共有 750 个，采自常用汉字表，常用汉字表上没有的汉字，仍以汉字形式书写（如“私”等）。为减轻学习汉字的负担，第十五课以前，所有汉字都注有读音假名，第十六课以后，只在新出现的汉字旁注音。

文化外语专科学校
日语科教学委员会
一九八七年四月

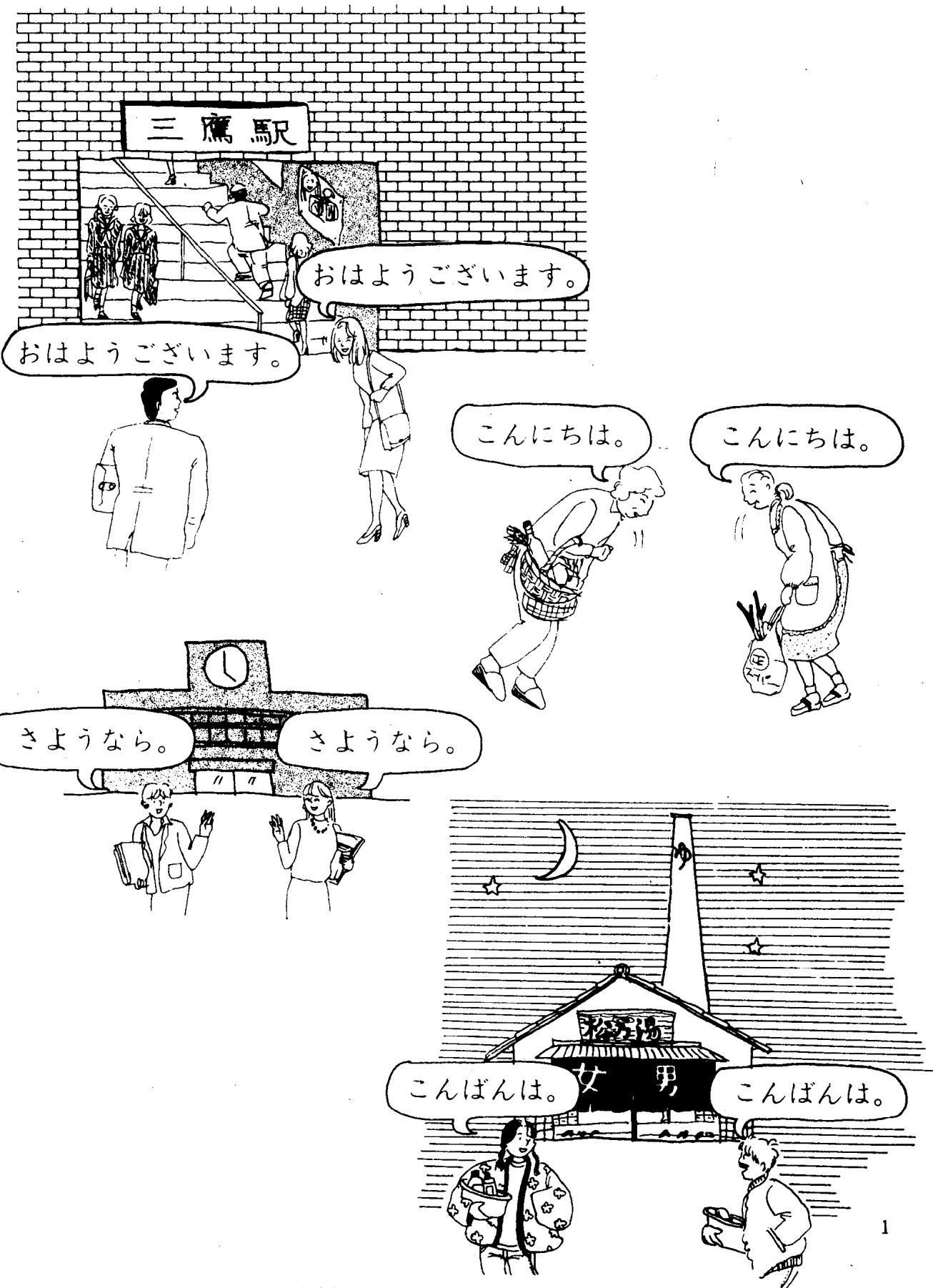
もくじ 目次

生活会話	1
第1課 テストは9時10分からです。	7
第2課 これは誰のテープですか。	17
第3課 この大きい猫は誰のですか。	24
第4課 広いですか。	28
第5課 冷蔵庫の中にビールとおさしみがあります。	34
第6課 吉田さんの一日、佐藤さんの一日	49
第7課 財布を落としました。	66
第8課 天気はどうでしたか。	79
第9課 使い方を教えてください。	92
第10課 団体旅行	102
第11課 自己紹介	110
第12課 料理教室	122
第13課 留学生の生活意識	130
第14課 マリーさんの日記	142
第15課 どちらのほうが便利ですか。	151
第16課 病院	162
第17課 天気予報	177
第18課 日本にいる留学生	186

第19課	まいご 迷子	190
第20課	しんろ もう進路を決めましたか。	202
第21課	ほうもん 訪問	211
第22課	ワープロが覚えられます。	220
第23課	ワンさんにあげるプレゼント	232
第24課	プールへ行かない？	242
第25課	おくるもの 贈り物	251
第26課	じどうてき 自動的に止まります。	259
第27課	引っ越し	270
第28課	送ってくれてありがとうございます。	281
第29課	お見舞い	289
第30課	もう少し召し上がりませんか。	296
第31課	とうきょうはつか 東京発鹿児島行き623便	309
第32課	ホームランを打たれました。	319
第33課	こうじょうけんがく 工場見学	328
第34課	どうしたらいいでしょう。	336
第35課	お待たせしてすみませんでした。	344
第36課	先輩にいろいろなことをさせられました。	354
第37課	入学試験	360
参考訳文		368
資料		416

せいかつかい わ
生活会話

1. あいさつ





2. コーヒーをください。

(店で)

A: ハンバーガーは

いくらですか。

B: 200円です。

A: ハンバーガーと

コーヒーをください。

B: はい。

A: いくらですか。

B: 350円です。



ハンバーガー



サンドイッチ



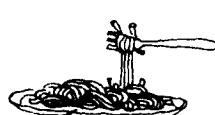
アイスクリーム



カレー



スペaghetti



ラーメン



サラダ



うどん



そば



定食



コーヒー



紅茶



ミルク



コーラ



ジュース



にほん
日本のお金



1円
えん



5円
えん



10円
えん



50円
えん



100円
えん



500円
えん



せんえん
千円



せんえん
5千円



まんえん
1万円

062716

〈生词〉

- 1 あいさつ[名サ] 问候
- 2 おはようございます 早上好
- 3 こんにちは[连语] 您好(白天问候用语)
- 4 さようなら[感] 再见
- 5 こんばんは[连语] 晚上好
- 6 いいえ[感] 不,不是
- 7 すみません[连语] 对不起
- 8 ありがとうございます 谢谢
- 9 どうぞ[副] 请
- 10 失礼(しつれい)します 失礼,请原谅,对不起
- 11 はじめまして[连语] 初次见面
- 12 どうぞよろしくお願いします 请多关照
- 13 コーヒー[名] 咖啡
- 14 ください[动] (敬)请给(我)
- 15 いくら[名・副] 多少
- 16 円[名] 元(日本货币单位)
- 17 ハンバーガー[名] 汉堡牛肉饼,汉堡包
- 18 と[格助] 和
- 19 はい[感] 是,是的
- 20 サンドイッチ[名] 三明治
- 21 アイスクリーム[名] 冰淇凌
- 22 カレー[名] 咖喱
- 23 スパゲッティ[名] 意大利挂面,细面条
- 24 ラーメン[名] 中国汤面
- 25 サラダ[名] 色拉
- 26 うどん[名] 面条
- 27 そば[名] 莜麦面条
- 28 定食(ていしょく)[名] 份饭
- 29 ミルク[名] 牛奶
- 30 コーラ[名] 可乐
- 31 ジュース[名] (水果)汁

- 32 やさい[名] 蔬菜
- 33 リンゴ[名] 苹果
- 34 きもの[名] 衣服、和服
- 35 ラジオ[名] 收音机
- 36 テレビ[名] 电视机
- 37 じびき[名] 字典
- 38 シャープペンシル[名] 自动铅笔
- 39 くるま[名] 车,汽车
- 40 金(かね)[名] 钱

だいいいつか
第一課

くじじつぶん
テストは9時10分からです。

1-1 テストは9時10分からです。

がくせい
学生：すみません。

せんせい
先生：はい。

がくせい
学生：今日のテストは何時からですか。

せんせい
先生：9時10分からです。

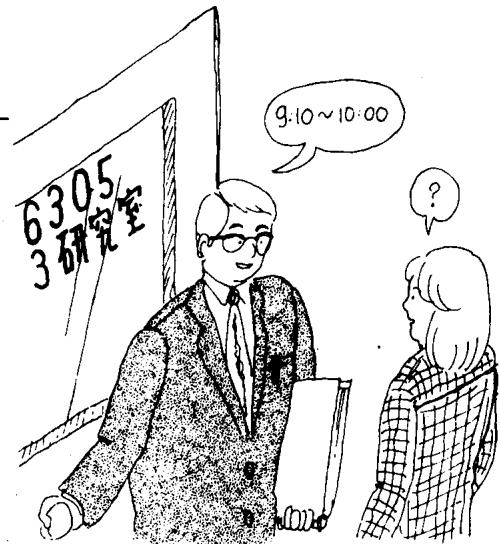
がくせい
学生：何時までですか。

せんせい
先生：10時までです。

がくせい
テストは9時10分から10時までです。

せんせい
学生：どうもありがとうございました。

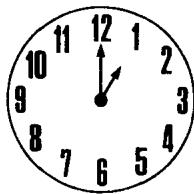
せんせい
先生：いいえ、どういたしまして。



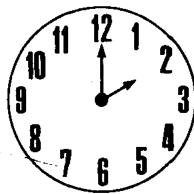
れいぶん せつめい
<例文・説明>

1.

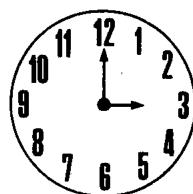
じかん
時間



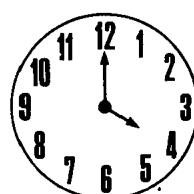
いちじ



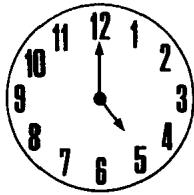
にじ



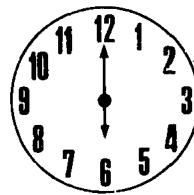
さんじ



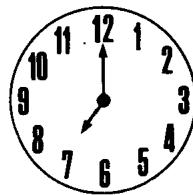
よじ



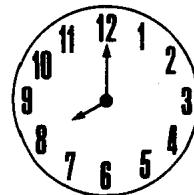
ごじ



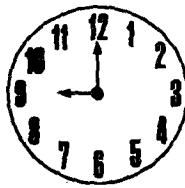
ろくじ



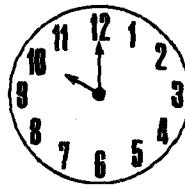
しちじ



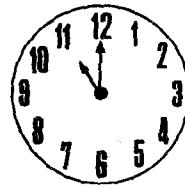
はちじ



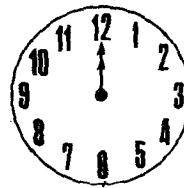
くじ



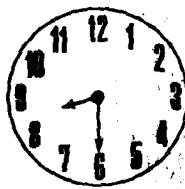
じゅうじ



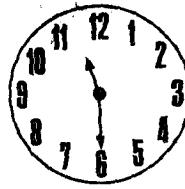
じゅういちじ



じゅうにじ



はちじはん
8時半



じゅういちじはん
1時半

NHKテレビ(1)		NHK教育テレビ(3)	
00	図☆15列島朝いちばん	00	高校講座物理△30体操
45	ワイド バイオリニストユーディ・メニューヒンシタイのトライアスロン△中継・不忍池△和紙の里・鳥山町	40	明井講座 上村邦夫
	8.15 国都の風 加納みゆき	00	フランス語「花園くいたリア・ルネサンス」
30	くらしの経済セミナー△国△失業。そのときくらしさは... 津田真理	30	スペイン語 野谷文昭
	9.30 国お母さんと一精△歌	15	発達性疾患「就学と進路・学校の役割」
00	△(全国の場合はあり)料理△30 NHK特集図「復活・ジャンプ秋元正博の365日」△街道	30	シルバーシート四
05	11.20 首都開拓「当社化粧品竹」△50くらし△55医	00	ワシントン・ドン西
	00 国△20生活笑活科 岩下代子 笑福亭仁助	30	ばくさんのかばん画
45	45 国都の風加納みゆき	00	あんげん画△45小3理
00	25 国△人形市面鏡を守る渡辺謙 勝新太郎△アジア映画「郷音・ふる里のしらべ」(1983年) 初回特別監修	30	きんすう△あいうえお
10	1.30 あずの植物画△ボランティアをやえる!	30	みてごらん のねずみ
	00 YOUNG「オレの洋を聴かせたい・アマチュアバンド大集合」	45	にんげん家族四
		00	みづめ奈川画△15地球
		00	中学生代研「入門・あいさつ道場」元藤ゆき
		00	私の青春画 鈴川柳三
		30	スポーツ教室「フェンシング・フルーレ・上達への道」川瀬利彦
		00	1.30 あずの植物画△ボランティアをやえる!
		00	YOUNG「オレの洋を聴かせたい・アマチュアバンド大集合」

6

7

8

9

10

11

12

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

1

2

3

4

5

6

7

8

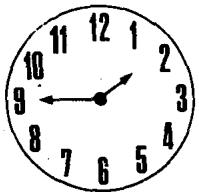
9

10

11

12

- 1:05 いちじ ごふん
- 1:10 いちじ じっふん
- 1:15 いちじ じゅうごふん
- 1:20 いちじ にじっふん
- 1:25 いちじ にじゅうごふん
- 1:30 いちじ さんじっふん/いちじ はん
- 1:35 いちじ さんじゅうごふん
- 1:40 いちじ よんじっふん
- 1:45 いちじ よんじゅうごふん
- 1:50 いちじ ごじっふん
- 1:55 いちじ ごじゅうごふん



いちじよんじゅうごふん
1時45分
にじじゅうごふんまえ
2時15分前



いちじごじゅつぶん
1時50分
にじじゅうじつぶんまえ
2時10分前

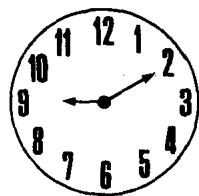


いちじごじゅうごふん
1時55分
にじじゅうごふんまえ
2時5分前

2.

A: なんじですか。

B: 9時10分です。

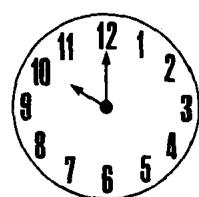


1) A: じゅうじですか。

B: はい、10時です。

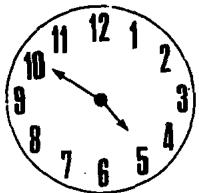
2) A: 9時ですか。

B: いいえ、9時10分です。



〈練習〉

a.



A: すみません。今何時ですか。

B: 4時50分です。

(5時10分前です。)

A: どうもありがとうございました。

B: いいえ、どういたしまして。

1. 10:00 2. 12:05 3. 2:35 4. 7:15

5. 6:45 6. 5:00 7. 8:30